



2018年3月期（第20期）決算の概要等について

株式会社札幌ドーム（以下当社）は、本日開催の定時株主総会、およびその後の臨時取締役会におきまして、以下のとおり2018年3月期（第20期）の決算を報告するとともに、取締役3名が選任され、就任いたしましたのでお知らせいたします。

1. 2018年3月期（第20期）決算概要

※百万円未満および1万人未満切り捨て

○売上高	38億89百万円	（前期比6.1%減）
○経常利益	2億29百万円	（前期比20.1%減）
○当期純利益	1億63百万円	（前期比1.7%減）
○総イベント開催日数	133日	（前期比1日減）
○総利用日数（設営撤去等を含む）	271日	（前期比9日増）
○稼働率	74.2%	（前期比2.4ポイント増）
○イベント来場者数	292万人	（前期比2.1%減）
○観光来場者・一般市民利用者ほか	11万人	（前期比12.3%減）
○総来場者数	304万人	（前期比2.5%減）

- ・前期と比較し、北海道日本ハムファイターズのポストシーズンの開催がなかったことが大きく影響し、売上高は38億89百万円、当期純利益は1億63百万円で減収減益となりました。
- ・総イベント開催日数は前期を1日下回る133日となりました。総来場者数は304万人となり、3期連続、かつプロ野球のポストシーズンの開催なしでは初めての300万人を突破しました。
- ・来場者向けとして「北チケット売場A改修」「1階コンコースマルチディスプレイ増設」など、主催者向けとして「バックネット下広告枠LED化」「館内装飾デジタルサイネージ化」、また安全対策として「昇降式防球ネット設置」など、施設の改良工事として総額3億49百万円の工事等を行い、その成果物を札幌市に寄付いたしました。
- ・「POSシステムのカスタマイズ」や、「基幹業務システムの機能追加」など、総額60百万円の設備投資を行いました。
- ・剰余金の処分について
 - ①将来に渡る良好な施設設備の環境を維持するため、当社応分の費用負担に備え、「施設保全設備更新積立金」として1億円（前期と同額）の積立てを実施します。
 - ②期末配当金として、1株につき1,000円、総額20百万円の配当を実施します(前期と同額)。

2. 役員一覧

代表取締役社長	山川 広行	
取締役副社長	町田 隆敏	札幌市 副市長
常務取締役	吉田 圭吾	当社 事業本部長
常務取締役	手島 久仁彦	(新任) 札幌市局長職 派遣
取締役	紫藤 正行	札幌商工会議所 副会頭
同	大野 浩	(新任) 北海道電力(株) 執行役員送配電カンパニー 札幌支店長
同	末長 守人	北海道瓦斯(株) 取締役常務執行役員
同	宮口 宏夫	(新任) (株)北海道新聞社 常務取締役管理統括本部長 兼経営企画局長
同	生方 誠司	サッポロビール(株) 上席執行役員北海道本社代 表兼北海道本部長
同	井上 幸三	(株)電通北海道 代表取締役社長
常勤監査役	鈴木 敏哉	
監査役	草薨 金矢	草薨金矢税理士事務所 所長
同	郷 雄司	(株)北洋銀行 執行役員公務金融部長

3. 当社による施設改修の取り組みについて

当社の収入および利益は、公共の施設である札幌ドームの維持管理やお客さまの利便性、サービスの向上、選手のプレー環境整備のための施設改修などを通して、市民の皆さまや主催者さまに還元させていただいております。これまでに実施した施設の改良工事などの総額は約 48 億円となっております（次ページの一覧表参照）。これからも飲食・物販、広告などの自主事業収入の一部を活用し、札幌ドームが安全安心そして快適な施設となるよう、適切に施設改修などを行ってまいります。

■今後計画している主な改修工事

【敷地内の階段にエスカレーターを設置します】（2018 年中に完成予定）

階段の上り下りの負担を軽減するため、ドーム歩道橋（以下「歩道橋」）そばの階段にエスカレーターを設置します。歩道橋は、地下鉄福住駅からドーム館内までの主要な入退場ルートとなっており、階段部分にはエレベーターも備え付けられているものの、「歩道橋前後の階段にエスカレーターを設置してほしい」との声を以前から多くいただいております。

【ホヴァリングサッカーステージの天然芝を更新します】（2018 年 7 月に完成予定）

ホヴァリングサッカーステージは重さ約 8,300t の移動式サッカーグラウンドですが、天然芝補修時の目砂入れ（※）などにより、開業以来少しずつ重さが増しています。そこで、天然芝張り替えおよび砂の量調整を実施し、ホヴァリングサッカーステージの重量適正化を図ります。張り替え用の新たな天然芝は 2016 年から屋外サッカー練習場などで育成を進めており、完成した天然芝を切り取って植え付ける「張芝工法」を用いることで作業期間を 5 月～7 月の約 3 か月のみ（養生期間含む）とし、Jリーグシーズンへの影響を最小限に抑えます。天然芝張り替えおよび砂の量調整は、札幌市の札幌ドーム保全計画に基づき札幌市負担にて行われます。

※目砂入れ：天然芝全面に定期的に砂を散布することで、凸凹を修復し、根の発育を促進する作業です。

【野球開催時の人工芝を全面更新します】（2019 年 3 月までに完成予定）

良好なプレー環境を確保するため、当社計画よりも前倒しで人工芝の全面更新を行う準備を進めています。ただいま仕様等の調査・検討を行っており、2019 年のプロ野球シーズンに間に合うよう準備を行います。

■札幌市が計画している主な改修工事

当社による改修工事と並行して、施設所有者の札幌市による改修工事および保全工事も行われる予定です。現在予定されている改修工事を抜粋して紹介します。

【野球用照明設備を更新します】（2019 年 3 月までに完成予定）

札幌市の札幌ドーム保全計画に基づき、アリーナ天井の野球用照明設備を更新します。新たな照明は LED タイプとし、明るさ向上と使用電力の低減を図ります。サッカー用照明設備は 2018 年 3 月に完成済みです。

※実施内容は変更となる場合があります。

■これまでに行った主な施設の改良工事等

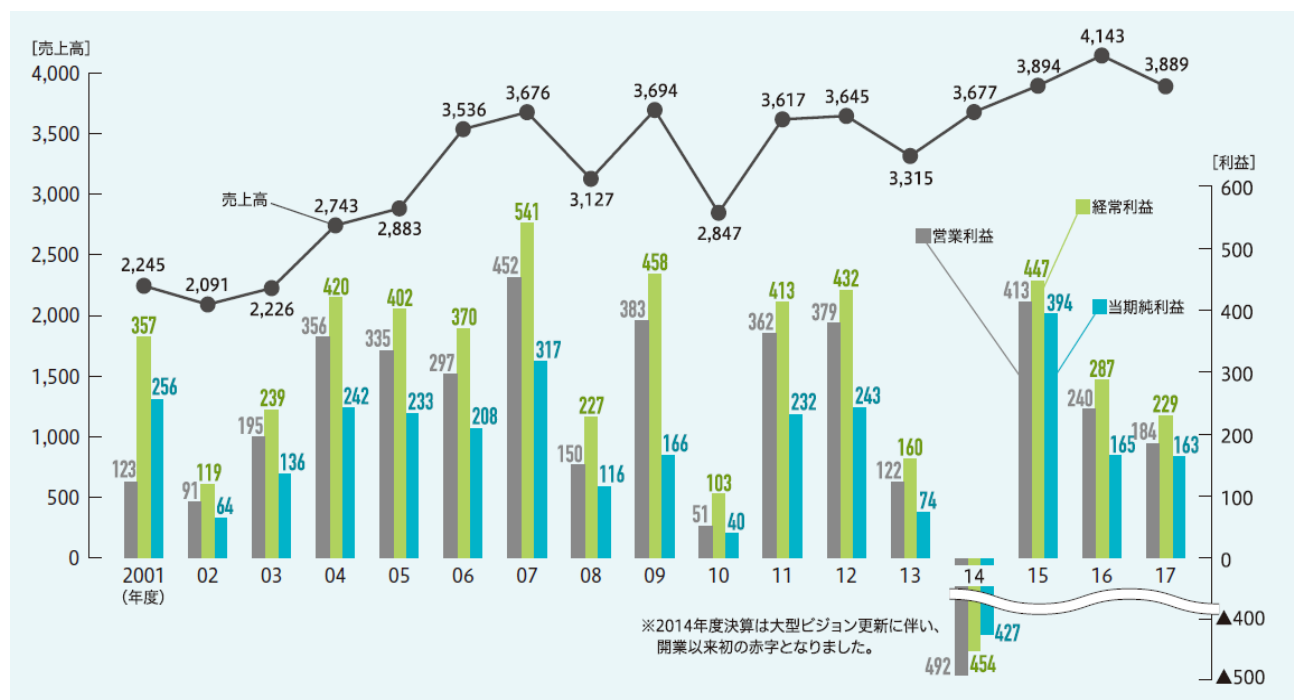
お客さまや主催者さまからのさまざまなご意見やご要望に基づき、より快適に札幌ドームをご利用いただくため、施設所有者である札幌市と協議のうえ、施設設備の改良工事等を実施してきました。

年度	主な工事	合計金額
2001年度	サイン関連工事	1億62百万円
2002年度	スタンド席手すり設置	2億81百万円
2003年度	バックネット取り換え	1億41百万円
2004年度	野球用人工芝更新 ※1回目 移動式チケット売り場設置	4億63百万円
2005年度	コミュニケーションスペース設置	1億49百万円
2006年度	大型複合遊具「キッズパーク」新設 メインスタンド（バックネット裏席）改良	3億97百万円
2007年度	車いす席改良 トイレ洗浄便座化	1億97百万円
2008年度	フィールドシート設置	2億21百万円
2009年度	1F コンコース喫煙室の売店化（現 サブウェイ）	1億65百万円
2010年度	トイレ一部洋式化改修（2014年度まで毎年実施）	65百万円
2011年度	スタンド席カップホルダー整備 バルコニーシート改修（現 スカイボックスシート）	1億97百万円
2012年度	野球用人工芝更新 ※2回目 1F コンコース喫煙室の売店化（現 築地銀だこ）	5億06百万円
2013年度	グッズ☆ジャム拡張	2億80百万円
2014年度	大型ビジョン更新	8億76百万円
2015年度	トイレのハンドドライヤー設置 B2F トイレ一部洋式化改修	87百万円
2016年度	スタンド席手すり増設 2F 女性用トイレ増設	3億06百万円
2017年度	北チケット売場A改修 1階コンコースマルチディスプレイ増設	3億49百万円
合計	当社負担で実施した改良工事等の累計金額 （2001年度～2017年度実施分）	48億53百万円

（税抜 百万円未満切り捨て）

<資料>

■業績の推移



■利用日数および稼働率の推移

